

# — 立命館大学 —

2月3日 全学統一 英語

## 解答

I

- [1] (A) 3 (B) 1 (C) 3 (D) 3  
[2] (1) 3 (2) 2 (3) 1 (4) 2 (5) 1  
[3] 2

II

- [1] (A) 3 (B) 1 (C) 4 (D) 3 (E) 2 (F) 1 (G) 4 (H) 3  
[2] (あ) 2 (い) 3 (う) 3 (え) 4 (お) 3

III

- [1] (あ) 3 (い) 6 (う) 10 (え) 2  
[2] (か) 4 (き) 10 (く) 2 (け) 8

IV

- (A) 4 (B) 1 (C) 1 (D) 2 (E) 3 (F) 3 (G) 3 (H) 3

V

- [1] (A) 2 (B) 3 (C) 1 (D) 3 (E) 4  
[2] (A) 2 (B) 2 (C) 3 (D) 4 (E) 4

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

**解説**

## IV

- (A) **be used to +Ving** 「～することに慣れている」という動名詞構文を問うている。  
よって、(4) **performing** が適切である。
- (B) **by hand** 「手渡しで」という慣用表現を問うている。よって、(1) **by** が適切である。
- (C) 主語が **Many books** 「多くの本」であることから、述語動詞は受動態になるものを選びたい。  
よって、(1) **been published** が適切である。
- (D) **have + O + V 原形** (O と V 原形の関係は能動関係) 「O に～してもらう」の語法を問うている。  
よって、(2) **send** が適切である。
- (E) 友人が 2 人いることが前提になっているので、使える代名詞は、**either** か **neither** しかない。  
また「友人 2 人に助けを求めたけれども、どちらも助ける気は無かった」という文脈から、  
否定の代名詞 (3) **neither** が適切である。
- (F) 条件の副詞節の時制が現在形で書かれていることに注目すれば、これは実際には未来のことだと判断できる。すると主節の時制は未来を表す **will** を含むことになる。  
さらに、**for 15 hours** 「15 時間の間」と期間を表す表現から完了形の継続を連想する。その 2 つの要素をミックスすると未来完了形になる。なお、**watch** は動作動詞であるため、完了進行形 (**have been Ving**) の形を取るのので (3) **will have been watching** が適切である。
- (G) 仮定法未来の **should** と **if** の省略を組み合わせた問題。  
元の英文は以下の通り  
**If your order should not arrive within a week, please call the office directly.**  
→ **Should your order not arrive within a week, please call the office directly.**  
よって、(3) **Should** が適切である。
- (H) 比較の慣用表現からの出題。“**no fewer than + 数詞**” は、数が多いことに対する驚きの気持ちを示して「～も (の)」という意味を表す。よって、(3) **no** が適切。  
なお、書き換えた表現は、“**as many as + 数詞**” であることも合わせて覚えておこう。

V

[1]

- (A) **expect + A + to V 原形**～「A が～するだろうと思う」は、受動態に変換すれば **A be expected to V 原形**～「A は～すると思われている」という形になり「ナンシーは海外へ行くと思われている」という文意も問題ない。よって、(2)**expected** が適切である。
- (B) これは文意に合うものが (3)**hopeful** しかない。「そのプロジェクトの進展は、今朝全員を希望に満ちたものにしてくれた」という意味である。
- (C) 文脈に合うものは (1)**financial burden** 「財政負担」しかない。  
「政府は国民に、増税によって財政負担を分かち合うようにと頼み込むであろう」という意味だが、新聞などに目を通しておかないとこの文脈は読み取れないかもしれない。
- (D) 文脈に合うものは (3)**prestige** 「名声、信望」である。  
「そのトーナメントに勝つことで、その学校の名声は上がった」という意味である。
- (E) 文脈に合うものは (4)**retreat** 「退却する」である。問題文前半を分詞構文の理由だと考えれば、文意は「そのような強い抵抗に直面したので、その軍は退却することを余儀なくされた」となる。

[2]

- (A) **be keen to V 原形**～「～することを熱望している」の言い換えは、**be eager to V 原形**である。  
よって、(2) **eager** が適切である。
- (B) **remainder** とは「残り」「残りの人々」の意味であるが、その言い換えは **the rest** 「残り、その他のもの(人)」である。よって、(2) **rest** が適切である。
- (C) **rationed** はおそらく受験生が見たことがない単語だと思われるが、状況から「制限される」という意味を読み取れるかどうかのカギ。「戦後ミルクは週に 2 リットルに制限されていた」という意味である。よって、(3)**restricted** が適切である。
- (D) 「彼女は自分の目の前の( ) 光景を見つめていた」の空所に入るのに適切な語句は (4)**rural** 「田舎の」が適切である。
- (E) **extraordinarily** は強調するときを使う表現で「非常に、並外れて」を意味する基本語彙。その言い換えは (4) **remarkably** が適切である。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！